

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成27年8月17日

【事業年度】 自平成26年1月1日 至平成26年12月31日

【会社名】 ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレイション・
リミテッド
(The Hongkong and Shanghai Banking Corporation Limited)

【代表者の役職氏名】 副会長兼最高経営責任者 ピーター・ウォン・ツン・シュン
(Peter Wong Tung Shun, Deputy Chairman and Chief Executive)

【本店の所在の場所】 香港、クイーンズ・ロード・セントラル1番
(1 Queen's Road Central, Hong Kong)

【代理人の氏名又は名称】 弁護士 小馬 瀬 篤 史

【代理人の住所又は所在地】 東京都港区元赤坂一丁目2番7号赤坂Kタワー
アンダーソン・毛利・友常法律事務所

【電話番号】 03-6888-1066

【事務連絡者氏名】 弁護士 井上 貴美子

【連絡場所】 東京都港区元赤坂一丁目2番7号赤坂Kタワー
アンダーソン・毛利・友常法律事務所

【電話番号】 03-6888-5873

【縦覧に供する場所】 該当なし

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成27年5月29日に提出致しました有価証券報告書（事業年度 自平成26年1月1日 至平成26年12月31日）の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたのでこれを訂正するため、本有価証券報告書の訂正報告書を提出致します。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第3 事業の状況

- 1 業績等の概要
- 3 対処すべき課題
- 4 事業等のリスク
- 7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

第5 提出会社の状況

- 1 株式等の状況
- 5 コーポレート・ガバナンスの状況等

第6 経理の状況

- 1 財務書類
- 3 その他

3【訂正箇所】

訂正箇所には下線を付しております。

第一部【企業情報】

第3【事業の状況】

1【業績等の概要】

<訂正前>

地域別

（中略）

資源の配分および事業セグメントの業績の評価のために当行グループの最高経営意思決定者に提供される情報は、香港財務報告基準（以下「HKFRS」という。）に準拠して測定される。当行グループの構造の性格により、以下に示される利益の分析には地域間のセグメント間項目が含まれ、消去は別個の欄で表示されている。このような取引は独立当事者間取引で行われている。共通費用は、実際の負担額に基づいてセグメントに含まれている。

（中略）

地域別税引前当期純利益

	香港 百万香港ドル	その他アジア・太平洋地域 百万香港ドル	セグメント間 消去 百万香港ドル	合計 百万香港ドル
2014年				
正味受取利息	50,774	44,333	2	95,109
正味受取手数料	29,996	14,626	-	44,622
トレーディング純収益	11,663	8,559	(2)	20,220
公正価値評価の指定を受けた金融商品からの純収益	3,134	914	-	4,048
金融投資による純収益	2,286	103	-	2,389
配当金	1,362	12	-	1,374
正味保険料収入	50,226	7,081	-	57,307
関連会社の再分類による純損失	-	(251)	-	(251)
その他営業収益	10,872	1,944	(4,063)	8,753
営業収益合計	160,313	77,321	(4,063)	233,571
正味保険金、支払給付金および保険契約準備金の変動	(52,916)	(7,266)	-	(60,182)
正味営業収益（貸倒損失およびその他の信用リスク引当金控除前）	107,397	70,055	(4,063)	173,389
貸倒損失およびその他の信用リスク引当金	(2,478)	(2,447)	-	(4,925)
正味営業収益	104,919	67,608	(4,063)	168,464
営業費用	(42,270)	(34,743)	4,063	(72,950)
営業利益	62,649	32,865	-	95,514
関連会社および合併事業における利益持分	317	15,358	-	15,675
税引前当期純利益	62,966	48,223	-	111,189
2013年				
正味受取利息	45,682	41,729	(46)	87,365
正味受取手数料	28,794	15,129	(77)	43,846
トレーディング純収益	11,156	5,375	46	16,577
公正価値評価の指定を受けた金融商品からの純収益	2,008	467	-	2,475
金融投資による純収益	323	119	-	442
配当金	1,165	10	-	1,175
正味保険料収入	47,173	6,490	-	53,663
関連会社の再分類による純収益	-	8,157	-	8,157
ピン・アン売却による利益	-	34,070	-	34,070
その他営業収益	13,803	2,186	(4,571)	11,418
営業収益合計	150,104	113,732	(4,648)	259,188
正味保険金、支払給付金および保険契約準備金の変動	(50,960)	(5,632)	-	(56,592)
正味営業収益（貸倒損失およびその他の信用リスク引当金控除前）	99,144	108,100	(4,648)	202,596
貸倒損失およびその他の信用リスク引当金	(1,032)	(2,500)	-	(3,532)
正味営業収益	98,112	105,600	(4,648)	199,064
営業費用	(38,845)	(34,531)	4,648	(68,728)
営業利益	59,267	71,069	-	130,336
関連会社および合併事業における利益持分	524	13,896	-	14,420
税引前当期純利益	59,791	84,965	-	144,756

香港のグローバル事業部門別税引前当期純利益

	リテール バンキング アンドウェルス マネジメント 百万香港 ドル	コマーシャル バンキング 百万香港 ドル	グローバル バンキング アンド マーケット 百万香港 ドル	グローバル プライベート バンキング 百万香港 ドル	その他 百万香港 ドル	セグメント間消去 百万香港 ドル	香港 合計 百万香港 ドル
2014年							
正味受取利息 / (費用)	25,464	15,367	11,896	782	(2,287)	(448)	50,774
正味受取手数料	16,443	7,568	4,816	1,017	152	-	29,996
トレーディング純収益 / (費用)	937	1,429	8,086	810	(47)	448	11,663
公正価値評価の指定を受けた金融商品からの純収益 / (費用)	3,290	(65)	(19)	-	(72)	-	3,134
金融投資による純収益	3	33	1,111	-	1,139	-	2,286
配当金	1	-	6	-	1,355	-	1,362
正味保険料収入	46,159	4,067	-	-	-	-	50,226
その他営業収益	3,277	331	572	10	8,616	(1,934)	10,872
営業収益合計	95,574	28,730	26,468	2,619	8,856	(1,934)	160,313
正味保険金、支払給付金および保険契約準備金の変動	(48,870)	(4,046)	-	-	-	-	(52,916)
正味営業収益 (貸倒損失およびその他の信用リスク引当金控除前)	46,704	24,684	26,468	2,619	8,856	(1,934)	107,397
貸倒損失およびその他の信用リスク引当金 (繰入) / 戻入	(1,149)	(684)	(652)	7	-	-	(2,478)
正味営業収益	45,555	24,000	25,816	2,626	8,856	(1,934)	104,919
営業費用	(16,969)	(6,445)	(11,016)	(1,361)	(8,413)	1,934	(42,270)
営業利益	28,586	17,555	14,800	1,265	443	-	62,649
関連会社および合併事業における利益持分	311	2	4	-	-	-	317
税引前当期純利益	28,897	17,557	14,804	1,265	443	-	62,966
2013年							
正味受取利息 / (費用)	24,687	13,406	10,380	116	(2,690)	(217)	45,682
正味受取手数料	15,749	7,473	5,405	105	62	-	28,794
トレーディング純収益	1,045	1,417	8,334	78	66	216	11,156
公正価値評価の指定を受けた金融商品からの純収益 / (費用)	1,965	-	56	-	(14)	1	2,008
金融投資による純収益	-	-	323	-	-	-	323
配当金	1	7	47	-	1,110	-	1,165
正味保険料収入	43,530	3,659	-	-	-	(16)	47,173
その他営業収益	4,799	706	591	-	9,856	(2,149)	13,803
営業収益合計	91,776	26,668	25,136	299	8,390	(2,165)	150,104
正味保険金、支払給付金および保険契約準備金の変動	(46,730)	(4,230)	-	-	-	-	(50,960)
正味営業収益 (貸倒損失およびその他の信用リスク引当金控除前)	45,046	22,438	25,136	299	8,390	(2,165)	99,144
貸倒損失およびその他の信用リスク引当金 (繰入) / 戻入	(1,065)	(122)	154	-	1	-	(1,032)
正味営業収益	43,981	22,316	25,290	299	8,391	(2,165)	98,112
営業費用	(15,501)	(5,955)	(10,084)	(224)	(9,246)	2,165	(38,845)
営業利益 / (損失)	28,480	16,361	15,206	75	(855)	-	59,267
関連会社および合併事業における利益持分	518	2	4	-	-	-	524
税引前当期純利益 / (損失)	28,998	16,363	15,210	75	(855)	-	59,791

香港

(中略)

収益は8,253百万香港ドル (8%) 増加したが、これは主にGPB事業の取得による通年の影響ならびに上記の2014年の売却益および減損費用を反映している。これらの要素を除くと、収益は主にCMBおよびRBWMで増加し、それより程度は少ないが、GB&Mでも増加した。

(中略)

RBWMの収益は2013年と比べて4%増加したが、これは貸付残高（主にクレジットカードおよびその他の個人向け貸付）および預金残高の平均額の増加による正味受取利息の増加によるものであり、スプレッドの縮小により一部相殺された。正味受取手数料も増加したが、主にユニット型投資信託の売買高、クレジットカード取引およびブローカー手数料の増加によるものである。保険事業においては、収益の増加は主に保険料収入の増加を反映しており、これは負債証券のポートフォリオの増加にも寄与している。しかしこれは、有効な長期保険契約の現在価値（以下「PVIF」という。）資産が、予定利率の有利な変更により2013年は大幅に増加したことに対して、2014年はより少ない増加にとどまったことにより一部相殺された。

GB&Mの収益は5%増加したが、これは主にバランスシート・マネジメントのポートフォリオの成長およびキャピタル・ファイナンスにおける中長期貸付の平均残高の増加によるものである。これは顧客の減少によるマーケットの正味受取手数料の減少、キャピタル・ファイナンスの手数料の圧縮および2014年に完了した大規模M&A案件の減少により一部相殺された。

(中略)

営業費用は、2014年に3,425百万香港ドル（9%）増加したが、これは規制に関するプログラムおよびコンプライアンスに対する取組みへの投資を反映している。費用の増加は、GPB事業の組入れ、賃金インフレおよび事業の拡大をサポートするために行われた主にCMBにおける従業員数の増加に加えて、マーケティング活動の増加ならびにIT、維持費用および賃料を含む施設および設備費用の増加も反映している。

その他アジア・太平洋地域のグローバル事業別税引前当期純利益

	リテール		グローバル		その他	セグメント間消去	その他アジア
	バンキング アンドウェルズ マネジメント	コマース バンキング	バンキング アンド マーケツ	グローバル プライベート バンキング			
	百万 香港ドル	百万 香港ドル	百万 香港ドル	百万 香港ドル	百万 香港ドル	百万 香港ドル	百万 香港ドル
2014年							
正味受取利息	13,331	11,299	15,909	590	2,053	1,151	
正味受取手数料 / (費用)	4,949	4,286	5,075	417	(101)	-	
トレーディング純収益 / (費用)	635	1,466	7,384	288	(63)	(1,151)	
公正価値評価の指定を受けた金融商品からの純収益 / (費用)	920	15	5	-	(26)	-	
金融投資による純収益	5	5	79	-	14	-	
配当金	5	1	-	-	6	-	
正味保険料収入	4,981	2,115	-	-	1	(16)	
関連会社の再分類による純損失	-	-	-	-	(251)	-	
その他営業収益	724	404	489	3	1,026	(702)	
営業収益合計	25,550	19,591	28,941	1,298	2,659	(718)	
正味保険金、支払給付金および保険契約準備金の変動	(5,246)	(2,032)	-	-	-	12	
正味営業収益（貸倒損失およびその他の信用リスク引当金控除前）	20,304	17,559	28,941	1,298	2,659	(706)	
貸倒損失およびその他の信用リスク引当金（繰入） / 戻入	(1,319)	(1,080)	(50)	1	1	-	
正味営業収益	18,985	16,479	28,891	1,299	2,660	(706)	
営業費用	(15,326)	(8,271)	(9,629)	(885)	(1,338)	706	
営業利益	3,659	8,208	19,262	414	1,322	-	
関連会社および合併事業における利益持分	2,042	11,019	2,295	-	2	-	
税引前当期純利益	5,701	19,227	21,557	414	1,324	-	
2013年							
正味受取利息	13,328	10,660	14,926	159	1,606	1,050	41,729
正味受取手数料 / (費用)	5,411	4,304	5,398	143	(127)	-	15,129
トレーディング純収益 / (費用)	617	1,467	7,811	44	(3,514)	(1,050)	5,375
公正価値評価の指定を受けた金融商品からの純収益	460	2	-	-	5	-	467
金融投資による純収益	(8)	4	117	-	6	-	119
配当金	3	1	-	-	6	-	10
正味保険料収入	5,053	1,452	-	1	-	(16)	6,490
関連会社の再分類による純利益	-	-	-	-	8,157	-	8,157
ピン・アン売却による利益	-	-	-	-	34,070	-	34,070

その他営業収益	1,119	44	626	3	923	(529)	2,186
営業収益合計	25,983	17,934	28,878	350	41,132	(545)	113,732
正味保険金、支払給付金および保険契約準備金の変動	(4,531)	(1,113)	-	(1)	-	13	(5,632)
正味営業収益（貸倒損失およびその他の信用リスク引当金控除前）	21,452	16,821	28,878	349	41,132	(532)	108,100
貸倒損失およびその他の信用リスク引当金（繰入）/戻入	(1,635)	(970)	103	-	2	-	(2,500)
正味営業収益	19,817	15,851	28,981	349	41,134	(532)	105,600
営業費用	(16,405)	(7,938)	(9,580)	(227)	(913)	532	(34,531)
営業利益	3,412	7,913	19,401	122	40,221	-	71,069
関連会社および合併事業における利益持分	1,782	10,323	1,956	-	(165)	-	13,896
税引前当期純利益	5,194	18,236	21,357	122	40,056	-	84,965

その他アジア・太平洋地域

その他アジア・太平洋地域の税引前当期純利益は48,223百万香港ドルであり、2013年の84,965百万香港ドルと比べて43%減となった。税引前当期純利益の減少は、2013年の数多くの事象を反映しており、主なものはピン・アンの純売却益30,747百万香港ドル、インダストリアル・バンクの再分類による会計上の利益8,454百万香港ドルならびにベトナム、韓国、台湾およびシンガポールにおける非中核的保険事業の売却による純収益685百万香港ドルである。

（中略）

中国本土では、ポートフォリオの拡大および再投資率の上昇に加えて、中長期貸付の平均残高の増加により、GB&Mのバランスシート・マネジメントによる正味受取利息が増加した。さらに、トレーディング収益は、金利業務において負債証券に係る受取利息の増加および利回りの低下によるトレーディング債券の再評価利益により増加し、外国為替業務において顧客の増加により増加した。RBWMの収益の増加は主に2014年上半期に市場金利が上昇したことによる預金スプレッドの拡大によるものであり、CMBにおいては、収益の増加は主に預金および貸付の平均残高が増加したことによるものである。

（中略）

貸倒損失2,447百万香港ドルは2013年と比べてわずかに減少したが、これは主に2013年にはRBWM引当金モデルの見直しにより経常外費用が生じたことに加えて、2014年にはマレーシアおよびオーストラリアの引当金が減少したことによるものである。これは、主に中国本土における少数の個別評価による貸倒損失により生じたGB&MおよびCMBにおける増加により大部分が相殺された。しかし、ニュージーランド、マレーシアおよびベトナムでは2014年に個別評価による貸倒損失は減少した。

営業費用はわずかに212百万香港ドル増加したが、これは規制に関するプログラムへの投資およびコンプライアンス費用の増加に加えて、特に中国本土で事業の拡大をサポートするために行われた従業員数の増加および賃金インフレによるものである。これらの増加は、保険合併事業の558百万香港ドルの臨時の評価減に起因する韓国における減少および2013年におけるRBWM事業のランオフに関連する再編引当金により一部相殺された。

関連会社および合併事業における利益持分は1,462百万香港ドル増加したが、これは主に2013年のベトナムの銀行関連会社に係る減損費用819百万香港ドルによるものである。また、バンク・オブ・コミュニケーションズの利益持分の増加にも起因している。

< 訂正後 >

地域別

（中略）

資源の配分および事業セグメントの業績の評価のために当行グループの最高経営意思決定者に提供される情報は、香港財務報告基準（以下「HKFRS」という。）に準拠して測定される。当行グループの構造の性格により、以下に示される利益の分析には地域間のセグメント間項目が含まれ、消去は別個の欄で表示されている。このような取引は独立当事者間取引で行われている。共通費用は、実際の負担配分額に基づいてセグメントに含められている。

（中略）

地域別税引前当期純利益

	香港 百万香港ドル	その他アジア・太平洋地域 百万香港ドル	セグメント間 消去 百万香港ドル	合計 百万香港ドル
2014年				
正味受取利息	50,774	44,333	2	95,109
正味受取手数料	29,996	14,626	-	44,622
トレーディング純収益	11,663	8,559	(2)	20,220
公正価値評価の指定を受けた金融商品からの純収益	3,134	914	-	4,048
金融投資による純収益	2,286	103	-	2,389
配当金	1,362	12	-	1,374
正味保険料収入	50,226	7,081	-	57,307
関連会社の再分類による純損失	-	(251)	-	(251)
その他営業収益	10,872	1,944	(4,063)	8,753
営業収益合計	160,313	77,321	(4,063)	233,571
正味支払保険金および支払給付ならびに保険契約準備金の変動	(52,916)	(7,266)	-	(60,182)
正味営業収益（貸倒損失およびその他の信用リスク引当金控除前）	107,397	70,055	(4,063)	173,389
貸倒損失およびその他の信用リスク引当金	(2,478)	(2,447)	-	(4,925)
正味営業収益	104,919	67,608	(4,063)	168,464
営業費用	(42,270)	(34,743)	4,063	(72,950)
営業利益	62,649	32,865	-	95,514
関連会社および合併事業における利益持分	317	15,358	-	15,675
税引前当期純利益	62,966	48,223	-	111,189
2013年				
正味受取利息	45,682	41,729	(46)	87,365
正味受取手数料	28,794	15,129	(77)	43,846
トレーディング純収益	11,156	5,375	46	16,577
公正価値評価の指定を受けた金融商品からの純収益	2,008	467	-	2,475
金融投資による純収益	323	119	-	442
配当金	1,165	10	-	1,175
正味保険料収入	47,173	6,490	-	53,663
関連会社の再分類による純収益	-	8,157	-	8,157
ピン・アン売却による利益	-	34,070	-	34,070
その他営業収益	13,803	2,186	(4,571)	11,418
営業収益合計	150,104	113,732	(4,648)	259,188
正味支払保険金および支払給付ならびに保険契約準備金の変動	(50,960)	(5,632)	-	(56,592)
正味営業収益（貸倒損失およびその他の信用リスク引当金控除前）	99,144	108,100	(4,648)	202,596
貸倒損失およびその他の信用リスク引当金	(1,032)	(2,500)	-	(3,532)
正味営業収益	98,112	105,600	(4,648)	199,064
営業費用	(38,845)	(34,531)	4,648	(68,728)
営業利益	59,267	71,069	-	130,336
関連会社および合併事業における利益持分	524	13,896	-	14,420
税引前当期純利益	59,791	84,965	-	144,756

香港のグローバル事業部門別税引前当期純利益

	リテール バンキング アンドウェルス マネジメント 百万香港 ドル	コマーシャル バンキング 百万香港 ドル	グローバル バンキング アンド マーケッツ 百万香港 ドル	グローバル プライベート バンキング 百万香港 ドル	その他 百万香港 ドル	セグメント間消去 百万香港 ドル	香港 合計 百万香港 ドル
2014年							
正味受取利息 / (費用)	25,464	15,367	11,896	782	(2,287)	(448)	50,774
正味受取手数料	16,443	7,568	4,816	1,017	152	-	29,996
トレーディング純収益 / (費用)	937	1,429	8,086	810	(47)	448	11,663
公正価値評価の指定を受けた金融商品からの純収益 / (費用)	3,290	(65)	(19)	-	(72)	-	3,134
金融投資による純収益	3	33	1,111	-	1,139	-	2,286
配当金	1	-	6	-	1,355	-	1,362
正味保険料収入	46,159	4,067	-	-	-	-	50,226
その他営業収益	3,277	331	572	10	8,616	(1,934)	10,872
営業収益合計	95,574	28,730	26,468	2,619	8,856	(1,934)	160,313
正味支払保険金および支払給付ならびに保険契約準備金の変動	(48,870)	(4,046)	-	-	-	-	(52,916)
正味営業収益 (貸倒損失およびその他の信用リスク引当金控除前)	46,704	24,684	26,468	2,619	8,856	(1,934)	107,397
貸倒損失およびその他の信用リスク引当金 (繰入) / 戻入	(1,149)	(684)	(652)	7	-	-	(2,478)
正味営業収益	45,555	24,000	25,816	2,626	8,856	(1,934)	104,919
営業費用	(16,969)	(6,445)	(11,016)	(1,361)	(8,413)	1,934	(42,270)
営業利益	28,586	17,555	14,800	1,265	443	-	62,649
関連会社および合併事業における利益持分	311	2	4	-	-	-	317
税引前当期純利益	28,897	17,557	14,804	1,265	443	-	62,966
2013年							
正味受取利息 / (費用)	24,687	13,406	10,380	116	(2,690)	(217)	45,682
正味受取手数料	15,749	7,473	5,405	105	62	-	28,794
トレーディング純収益	1,045	1,417	8,334	78	66	216	11,156
公正価値評価の指定を受けた金融商品からの純収益 / (費用)	1,965	-	56	-	(14)	1	2,008
金融投資による純収益	-	-	323	-	-	-	323
配当金	1	7	47	-	1,110	-	1,165
正味保険料収入	43,530	3,659	-	-	(16)	47,173	
その他営業収益	4,799	706	591	-	9,856	(2,149)	13,803
営業収益合計	91,776	26,668	25,136	299	8,390	(2,165)	150,104
正味支払保険金および支払給付ならびに保険契約準備金の変動	(46,730)	(4,230)	-	-	-	-	(50,960)
正味営業収益 (貸倒損失およびその他の信用リスク引当金控除前)	45,046	22,438	25,136	299	8,390	(2,165)	99,144
貸倒損失およびその他の信用リスク引当金 (繰入) / 戻入	(1,065)	(122)	154	-	1	-	(1,032)
正味営業収益	43,981	22,316	25,290	299	8,391	(2,165)	98,112
営業費用	(15,501)	(5,955)	(10,084)	(224)	(9,246)	2,165	(38,845)
営業利益 / (損失)	28,480	16,361	15,206	75	(855)	-	59,267
関連会社および合併事業における利益持分	518	2	4	-	-	-	524
税引前当期純利益 / (損失)	28,998	16,363	15,210	75	(855)	-	59,791

香港

(中略)

収益は8,253百万香港ドル(8%)増加したが、これは主にGPBの事業の取得による通年の影響ならびに上記の2014年の売却益および減損費用を反映している。これらの要素を除くと、収益は主にCMBおよびRBWMで増加し、それより程度は少ないが、GB&Mでも増加した。

(中略)

RBWMの収益は2013年と比べて4%増加したが、これは貸付残高(主にクレジットカードおよびその他の個人向け貸付)および預け金残高の平均額の増加による正味受取利息の増加によるものであり、スプレッドの縮小により一部相殺された。正味受取手数料も増加したが、主にユニット型投資信託の売買高、クレジットカード取引およびブローカー手数料の増加によるものである。保険事業においては、収益の増加は主に保険料収入の増加を反映しており、これは負債証券のポートフォリオの増加にも寄与している。しかしこれは、有効な長期保険契約の現在価値(以下「PVIF」という。)資産が、予定利率の有利な変更により2013年は大幅に増加したことに対して、2014年はより少ない増加にとどまったことにより一部相殺された。

GB&Mの収益は5%増加したが、これは主にバランスシート・マネジメントのポートフォリオの成長およびキャピタル・ファイナンスにおける中長期貸付の平均残高の増加によるものである。これは顧客の減少によるマーケット業務の正味受取手数料の減少、キャピタル・ファイナンスの手数料の圧縮および2014年に完了した大規模M&A案件の減少により一部相殺された。

(中略)

営業費用は、2014年に3,425百万香港ドル(9%)増加したが、これは規制に関するプログラムおよびコンプライアンスに対する取組みへの投資を反映している。費用の増加は、GPBの事業の組入れ、賃金インフレおよび事業の拡大をサポートするために行われた主にCMBにおける従業員数の増加に加えて、マーケティング活動の増加ならびにIT、維持費用および賃料を含む施設および設備費用の増加も反映している。

その他アジア・太平洋地域のグローバル事業別税引前当期純利益

	リテール バンキング		グローバル バンキング		グローバル プライベート		その他 セグメント間消去	その他アジア
	アンドウェルス マネジメント	コマーシャル バンキング	アンド マーケット	プライベート バンキング	その他	セグメント間消去		
	百万 香港ドル	百万 香港ドル	百万 香港ドル	百万 香港ドル	百万 香港ドル	百万 香港ドル	百万 香港ドル	
2014年								
正味受取利息	13,331	11,299	15,909	590	2,053	1,151		
正味受取手数料 / (費用)	4,949	4,286	5,075	417	(101)	-		
トレーディング純収益 / (費用)	635	1,466	7,384	288	(63)	(1,151)		
公正価値評価の指定を受けた金融商品からの純収益 / (費用)	920	15	5	-	(26)	-		
金融投資による純収益	5	5	79	-	14	-		
配当金	5	1	-	-	6	-		
正味保険料収入	4,981	2,115	-	-	1	(16)		
関連会社の再分類による純損失	-	-	-	-	(251)	-		
その他営業収益	724	404	489	3	1,026	(702)		
営業収益合計	25,550	19,591	28,941	1,298	2,659	(718)		
正味支払保険金および支払給付ならびに保険契約準備金の変動	(5,246)	(2,032)	-	-	-	12		
正味営業収益 (貸倒損失およびその他の信用リスク引当金控除前)	20,304	17,559	28,941	1,298	2,659	(706)		
貸倒損失およびその他の信用リスク引当金 (繰入) / 戻入	(1,319)	(1,080)	(50)	1	1	-		
正味営業収益	18,985	16,479	28,891	1,299	2,660	(706)		
営業費用	(15,326)	(8,271)	(9,629)	(885)	(1,338)	706		
営業利益	3,659	8,208	19,262	414	1,322	-		
関連会社および合併事業における利益持分	2,042	11,019	2,295	-	2	-		
税引前当期純利益	5,701	19,227	21,557	414	1,324	-		
2013年								
正味受取利息	13,328	10,660	14,926	159	1,606	1,050	41,729	
正味受取手数料 / (費用)	5,411	4,304	5,398	143	(127)	-	15,129	
トレーディング純収益 / (費用)	617	1,467	7,811	44	(3,514)	(1,050)	5,375	
公正価値評価の指定を受けた金融商品からの純収益	460	2	-	-	5	-	467	
金融投資による純収益	(8)	4	117	-	6	-	119	
配当金	3	1	-	-	6	-	10	
正味保険料収入	5,053	1,452	-	1	-	(16)	6,490	
関連会社の再分類による純利益	-	-	-	-	8,157	-	8,157	
ピン・アン売却による利益	-	-	-	-	34,070	-	34,070	
その他営業収益	1,119	44	626	3	923	(529)	2,186	
営業収益合計	25,983	17,934	28,878	350	41,132	(545)	113,732	
正味支払保険金および支払給付ならびに保険契約準備金の変動	(4,531)	(1,113)	-	(1)	-	13	(5,632)	
正味営業収益 (貸倒損失およびその他の信用リスク引当金控除前)	21,452	16,821	28,878	349	41,132	(532)	108,100	
貸倒損失およびその他の信用リスク引当金 (繰入) / 戻入	(1,635)	(970)	103	-	2	-	(2,500)	
正味営業収益	19,817	15,851	28,981	349	41,134	(532)	105,600	
営業費用	(16,405)	(7,938)	(9,580)	(227)	(913)	532	(34,531)	
営業利益	3,412	7,913	19,401	122	40,221	-	71,069	
関連会社および合併事業における利益持分	1,782	10,323	1,956	-	(165)	-	13,896	
税引前当期純利益	5,194	18,236	21,357	122	40,056	-	84,965	

その他アジア・太平洋地域

その他アジア・太平洋地域の税引前当期純利益は48,223百万香港ドルであり、2013年の84,965百万香港ドルと比べて43%減となった。税引前当期純利益の減少は、2013年には存在した数多くの事象を反映しており、主なものはピン・アンの純売却益30,747百万香港ドル、インダストリアル・バンクの再分類による会計上の利益8,454百万香港ドルならびにベトナム、韓国、台湾およびシンガポールにおける非中核的保険事業の売却による純収益685百万香港ドルである。

(中略)

中国本土では、ポートフォリオの拡大および再投資率の上昇に加えて、中長期貸付の平均残高の増加により、GB&Mのバランスシート・マネジメントによる正味受取利息が増加した。さらに、トレーディング収益は、金利業務において負債証券に係る受取利息の増加および利回りの低下によるトレーディング債券の再評価利益により増加し、外国為替業務において顧客の増加により増加した。RBWMの収益の増加は主に2014年上半期に市場金利が上昇したことによる預け金スプレッドの拡大によるものであり、CMBにおいては、収益の増加は主に預け金および貸付の平均残高が増加したことによるものである。

(中略)

貸倒損失2,447百万香港ドルは2013年と比べてわずかに減少したが、これは主に2013年にはRBWM引当金モデルの見直しにより経常外費用が生じたことに加えて、2014年にはマレーシアおよびオーストラリアの引当金が減少したことによるものである。これは、主に中国本土における少数の個別評価による貸倒損失により生じたGB&MおよびCMBにおける損失増加により大部分が相殺された。しかし、ニュージーランド、マレーシアおよびベトナムでは2014年に個別評価による貸倒損失は減少した。

営業費用はわずかに212百万香港ドル増加したが、これは規制に関するプログラムへの投資およびコンプライアンス費用の増加に加えて、特に中国本土で事業の拡大をサポートするために行われた従業員数の増加および賃金インフレによるものである。これらの増加は、保険合併事業の558百万香港ドルの臨時的評価減が再発生しなかった韓国における減少および2013年におけるRBWM事業のランオフに関連する再編引当金により一部相殺された。

関連会社および合併事業における利益持分は1,462百万香港ドル増加したが、これは主に2013年にはベトナムの銀行関連会社に係る減損費用819百万香港ドルがあったことによるものである。また、バンク・オブ・コミュニケーションズの利益持分の増加にも起因している。

3【対処すべき課題】

<訂正前>

(前略)

バーゼル
(未監査)

(中略)

バーゼル の提案に詳述されている基準に加え、バーゼル銀行監督委員会は2011年1月に最低要件を定め、納税者に負担を強いる前に、すべてのクラスの資本調達手段によって経営破綻に伴う損失を完全に吸収できるようにしている。2013年1月1日以降に発行された資本証券を規制上の自己資本に含めることができるのは新しい要件を満たしている場合だけである。2013年1月1日より前に発行された証券の自己資本上の取扱いは2013年1月1日から10年間にわたって段階的に廃止される。

(中略)

レバレッジ比率
(未監査)

バーゼル は銀行の過剰なレバレッジを制限するためにリスク・ベースの自己資本比率に対する補完的な評価基準として非リスク・ベースの単純なレバレッジ比率を導入している。レバレッジ比率は、リスク・ベースの自己資本比率を補完する非リスク・ベースのバックストップ・リミットとしてバーゼル の枠組みに導入された。その目的は、モデル・リスクと評価ミスに対する追加のセーフガードを導入し、銀行セクターにおける過剰なレバレッジ構築を制限することである。この比率は、バーゼル のTier 1 資本として計算された数量ベースの数値を、オンバランスとオフバランスのエクスポージャーの総額で除したものである。

バーゼル では、この比率導入にあたり、2011年に始まった監督モニタリング期間と2013年1月から2017年1月までの並行運用期間で構成された移行期間を定めている。並行運用期間を利用して、2018年1月1日から第1の柱の要件に移行する目的において3%と提案されている最低自己資本比率の妥当性を評価している。

(中略)

資金調達手段
(未監査)

(中略)

主要な特徴および当行グループの資金調達手段の完全な条件に関する説明は、当行のウェブサイト()の規制上の情報開示セクション(Regulatory Disclosures)に掲載されている。

<訂正後>

(前略)

バーゼル
(未監査)

(中略)

バーゼル の提案に詳述されている基準に加え、バーゼル銀行監督委員会は2011年1月に最低要件を定め、納税者に負担を強いる前に、すべてのクラスの資本調達手段によって経営破綻に伴う損失が完全に吸収されるように求めている。2013年1月1日以降に発行された資本証券を規制上の自己資本に含めることができるのは新しい要件を満たしている場合だけである。2013年1月1日より前に発行された証券の自己資本上の取扱いは2013年1月1日から10年間にわたって段階的に廃止される。

(中略)

レバレッジ比率

(未監査)

バーゼル は銀行の過剰なレバレッジを制限するためにリスク・ベースの自己資本比率に対する補完的な評価基準として非リスク・ベースの単純なレバレッジ比率を導入している。レバレッジ比率は、リスク・ベースの自己資本比率を補完する非リスク・ベースのバックストップ・リミットとしてバーゼル の枠組みに導入された。その目的は、モデル・リスクと評価ミスに対する追加のセーフガードを導入し、銀行セクターにおける過剰なレバレッジ構築を制限することである。この比率は、バーゼル のTier 1 資本を、オンバランスとオフバランスのエクスポージャーの総額で除して計算される数量ベースのものである。

バーゼル では、この比率導入にあたり、2011年に始まった監督モニタリング期間と2013年1月から2017年1月までの試行期間で構成された移行期間を定めている。試行期間を利用して、2018年1月1日から第1の柱の要件に移行する目的において3%と提案されている最低自己資本比率の妥当性を評価している。

(中略)

資金調達手段

(未監査)

(中略)

主要な特徴および当行グループの資金調達手段の完全な条件に関する説明は、当行のウェブサイト (www.hsbc.com.hk) の規制上の情報開示セクション (Regulatory Disclosures) に掲載されている。

4【事業等のリスク】

<訂正前>

(前略)

リスク管理(未監査)

当行グループの業務はいずれもある程度のリスクまたは統合リスクの分析、評価、受容および管理を伴っている。当行グループが直面する主なリスクは、信用リスク(この中には、カントリー・リスクとクロスボーダー・リスクが含まれている。)、流動性リスクおよび資金調達リスク、市場リスク、保険リスク、オペレーショナル・リスクおよびレピュテーション・リスクである。

(中略)

2014年に当行は、香港および中国において経済活動が大幅に減速するというシナリオを検討した。このストレス・テストの結果によると、当行グループは想定される経営行動を考慮に入れても十分な資本基盤を維持していることが証明されている。

リスクに関する記述 - 銀行業務
 (監査済み)

リスク	原因	リスクの測定、モニタリングおよび管理
信用リスク		
顧客またはカウンターパーティが契約上の義務を履行しない場合に財務損失が発生するリスク	<ul style="list-style-type: none"> 信用リスクは、主に、直接貸付、貿易金融およびリース業務に起因して発生するが、保証状やデリバティブなど他の一部の商品でも発生する。 	信用リスクは： <ul style="list-style-type: none"> 顧客またはカウンターパーティの返済不履行によって失うおそれがある金額として測定されている。デリバティブのエクスポージャーを測定する場合には、取引の最新の時価と市場金利の変動に伴って時間の経過とともに予想される当該時価の変動を考慮に入れている。 個人が委託された権限の枠組みの範囲内で承認した限度内でモニターされている。これらの限度額は、顧客またはカウンターパーティが契約上の義務を履行しない場合に当行グループが被るおそれがあるエクスポージャーまたは損失の上限に相当する。 リスク・マネジャーに対する明確で一貫性のある方針、原則および助言を概述した厳格なリスク管理体制を通じて管理されている。

(中略)

リスク	原因	リスクの測定、モニタリングおよび管理
市場リスク		
外国為替レート、コモディティ価格、金利、信用スプレッドおよび株価を含む市場要因の変動によって当行の利益または当行のポートフォリオの価値が減少するリスク	市場リスクに対するエクスポージャーは2つのポートフォリオに区分されている。 <ul style="list-style-type: none"> トレーディング・ポートフォリオは、主に顧客から派生したポジションのマーケットメイキングとウェアハウジングに起因したポジションで構成されている。 非トレーディング・ポートフォリオは、当行のリテール・バンキング資産と負債およびコマーシャル・バンキング資産と負債、売却可能目的および満期保有目的に指定されている金融投資、ならびに当行の保険業務から生じるポジションに起因するエクスポージャーで構成されている。 	市場リスクは： <ul style="list-style-type: none"> 具体的な対象期間について、所定の信頼水準まで、市場金利と時価の変動に伴うリスク・ポジションの潜在的な損失を見積もるために利用されるバリュー・アット・リスクの観点から測定され、より極端だが、ありそうな事象または一連の財務変数の変動がポートフォリオの価値に及ぼす潜在的な影響を評価するストレス・テストによって補強される。 正味受取利息の感応度および構造的な外国為替の感応度を含む数値を利用して測定され、リスクの種類ごとに市場リスク・ポジションに適用されている。 当行グループのリスク管理委員会から承認されたリスクの上限を利用して管理されている。これらのリスク単位は事業部門全体と当行グループの事業体に配分されている。

(中略)

リスクに関する記述 - 保険引受業務

(中略)

財務リスク		
<p>保険契約に基づいて発生する負債と保険債務の裏付けになっている資産ポートフォリオを効率的にマッチできる能力は、市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクなどの財務リスクの管理、ならびに保険契約者が負担するリスクの程度を条件にしている。</p> <p>任意参加型保険契約は、保険契約の種類および保険契約の具体的な約款に合わせて保険契約者と株主の間で原資産のパフォーマンスを共有する。</p>	<p>以下に起因した財務リスクに対するエクスポージャー：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 金利、外国為替レートおよび株価などの変数の変動に起因して金融資産または将来のキャッシュ・フローの公正価値が変動する市場リスク ・ 第三者のそれぞれの債務不履行に伴う信用リスクおよび財務損失の可能性 ・ 必要期間内に現金化可能な資産の不足を理由に、期限到来時に保険契約者に対する支払いができなくなる事業体の流動性リスク 	<p>財務リスクは：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リスクの種類ごとに個別に測定されている。 - 市場リスクは重要な財務変数の変動に対するエクスポージャーの観点から測定されている。 - 信用リスクは、カウンターパーティの返済不履行によって失うおそれがある金額として測定されている。 - 流動性リスクは、ストレス下にある営業キャッシュ・フロー予測を含む内部の測定基準を利用して測定されている。 ・ 個人が委託された権限の枠組みの範囲内で承認した限度内でモニターされている。 ・ リスク・マネジャーに対する明確で一貫性のある方針、原則および助言を概述した厳格なリスク管理体制を通じて管理されている。通常、保証付き保険商品を引き受けている子会社は、自ら発行した保険契約の範囲内で、市場のエクスポージャーが任意参加型（または無償）特約を利用して管理できない限りにおいて、市場金利の低下および株価下落の影響を受けている。 ・ 参加型の保険商品に関しては、任意参加型特約に基づいて保険契約者とリスクを分担することによって軽減することができる。

(中略)

信用リスク（監査済み）

信用リスクは、当行が負うリスクに関して最も多くの規制上の自己資本を必要とする。当行グループはすべての活動に起因したリスクの管理とモニタリングのみを対象にした基準、方針および手順を定めている。HSBCグループの本店が定めた方針に従っている当行グループの主要な信用リスク管理手順と方針の中には、以下が含まれている。

(中略)

リスク委員会は、リスクに関する問題について取締役会を監督し、助言を行う責任も負っている。この点に関するリスク委員会の重要な責任の中には、当行グループ全体でのリスク選好、リスク許容度およびリスク戦略に関する取締役会への助言を作成すること、ならびに現在および予想されるマクロ経済環境と金融環境を考慮し、適切とみなした保証を求めることが含まれている。リスク委員会は、内部統制とリスク管理体制の有効性に関する定期的なレビュー、およびハイレベルのリスク問題のすべてについて取締役会に助言する責任も負っている。リスク委員会は当行グループの最高リスク責任者の任命と解任について承認する。

()信用エクスポージャー**信用リスクに対するエクスポージャーの上限**

(監査済み)

(中略)

下表は、保有する担保またはその他の信用補完（かかる信用補完が会計上の相殺要件に適合している場合はこの限りではない。）を考慮する前の、オンバランスおよびオフバランスの金融商品の信用リスクに対するエクスポージャーの上限を表示している。貸借対照表で認識されている金融資産については、信用リスクに対するエクスポージャーの上限は簿価と等しく、財務保証および同様の約定に関しては保証状の履行を請求された場合に支払義務を負う金額の上限を表している。それぞれの与信枠の期間中に取り消しできない貸付の融資確約および与信に関連したその他のコミットメントについては、一般的には確約された与信枠の全額になる。

(中略)

()金融商品の信用の質

(監査済み)

当行グループの貸付および負債証券のポートフォリオの信用の質について、下表のとおり、大きく4つに分類されている。各々の分類には、ホールセールおよびリテール貸付業務に割り当てられた、より細分化された内部格付等級だけでなく、負債証券に対して外部の格付機関から付与された格付も含まれている。

以下の4つの分類のいずれかに該当する場合を除き、詳細に比べると内部格付と外部格付の間には直接的な相関はない。

(中略)

信用の質に関する分類の定義

(監査済み)

- ・ 良好：このエクスポージャーは、デフォルトの確率がごくわずかであるか、または低く、および/または予想損失の水準が低く、財務上のコミットメントを履行する高い能力を証明している。リテール勘定は、商品のパラメーターの範囲内で処理され、ごく例外的に債務不履行期間を表す。

(中略)

()延滞しているが、まだ減損していない金融商品の時系列分析

(監査済み)

下表に記載されている金額は、延滞しているが減損していないと指定されたエクスポージャーを表している。延滞しているが減損していないと指定されたエクスポージャーの例の中には、直近の返済日に支払われなかったが、返済日の時点で減損の証拠がない貸付のほか、ドキュメンテーションの遅延などの形式的な理由によって90日超延滞しているが、カウンターパーティの信用力には全く問題がない短期貿易ファシリティが含まれている。

(中略)

減損および信用リスクの軽減

(中略)

- ・ ヒストリカル・ロス法は、貸倒引当金が個別に減損と確認および評価される時点まで、担保付ポートフォリオまたはデフォルト確率の低いポートフォリオに対する集会的な貸倒引当金を計算するために利用されるのが一般的である。ヒストリカル・ロス法を利用した集会的に評価された貸付に関しては、ヒストリカル・ロス・レートは、一定の期間における回収金の平均的な契約上の正味償却に基づいている。契約上の正味償却率は、担保物の実行と回収金受領後の実際に経験した損失の金額である。

(中略)

集会的に評価されたホールセール貸付と個人向け担保付貸付については、発生しているが個別には確認されていない減損損失を見積もるために、ヒストリカル・ロス法を適用している。損失率は定められた60ヶ月以上の期間にわたる回収金の契約上の正味償却に基づいている。契約上の正味償却率は担保物の実行と回収金受領後の実際に経験した損失の金額である。これらのヒストリカル・ロス・レートは、ポートフォリオに影響を及ぼしている現在の経済情勢をより良く反映させるため過去の平均を調整した経済的要因によって調整されている。確認および評価されていない損失事由の蓋然性を反映させるため、発生期間に関する推定を適用している。これは、損失の発生から損失を確認するまでの期間を反映しているものである。発生期間は当行グループによって見積もられるほか、場合によっては確認された各々のポートフォリオについて現地の経営陣によって見積もられている。この見積もりに影響を及ぼすおそれのある要因の中には、経済情勢と市況、顧客の行動、ポートフォリオ管理情報、与信管理技法および市場での回収経験が含まれている。当行グループ全体では損失発生から損失確認までの期間について一定のレンジは定められていないほか、経験に基づいて定期的に評価されているため、これらの要因の変動に伴い時間の経過とともに変動する可能性がある。

(中略)

企業、商業および金融（ノンバンク）貸付

(監査済み)

保有担保は、商業用不動産およびその他の企業、商業および金融（ノンバンク）貸付別に、以下において個別に分析されている。これは、ポートフォリオに保有されている担保の相違を反映している。それぞれの場合において、分析にはオフバランスシート貸付コミットメント、主に未実行信用枠が含まれる。

（中略）

担保の水準別に見たCRR/EL 8 から10に格付されている顧客のみに対するその他の企業、商業および金融（ノンバンク）貸付（貸付コミットメントを含む。）

（監査済み）

（中略）

上記の評価で使用された担保物には、主に不動産に対する第一順位の法的担保および商業セクターと製造業セクターにおける現金担保および金融セクターにおける現金と市場性のある金融商品に対する担保が含まれている。

（中略）

デリバティブ

（監査済み）

デリバティブ業務のドキュメンテーションとして当行が優先して利用しているのは国際スワップ・デリバティブズ協会（以下「ISDA」という。）のマスター契約である。マスター契約は契約上の枠組みを定めており、当行はその範囲内で様々な店頭デリバティブ取引を行っているほか、当事者はマスター契約によって拘束され、いずれかの当事者がデフォルトを起こした場合、または事前に合意された別の契約終了事由が発生した場合には、契約の適用対象である残存するすべての取引全体で一括清算ネットリングが適用される。一般的に、当事者はISDAマスター契約と同時にクレジット・サポート・アネックス（以下「CSA」という。）を締結するが、当行においても好まれる慣行である。CSAに基づき、残存するポジションに内在するカウンターパーティ・リスクを軽減するために当事者間で担保の移転が行われている。当行がCSAを締結している相手方の大半は金融機関顧客である。

その他の信用リスク

（監査済み）

（中略）

当行グループの信用リスクに対するエクスポージャーの上限には、財務保証のほか、当行グループが発行または締結する同じような取決めと取消不能の形で行われた貸付コミットメントが含まれている。取決めの条件によっては、保証状の履行が請求された場合、または貸付コミットメントが実行され、その後にデフォルトが発生した場合、当行は追加の信用軽減措置をとることができる。これらの取決めに関する追加情報は、「第6 経理の状況 - 1 財務書類 - 注記42」に記載されている。

（中略）

買戻資産は、秩序だった方法により売却の対象となり、売却代金は未払債務の減額または返済に充てられる。債務の返済後にも残額がある場合には低順位のその他担保権者への支払い、または顧客への返還に利用可能となる。当行グループは一般的には自行の事業目的での使用のため買戻財産を占有することはない。

（中略）

中核的預金

（中略）

レポ契約と銀行預金は中核的預金に分類することができない。

（中略）

流動資産

（未監査）

(中略)

内部分類	認識されている 現金流入額	資産クラス	適格規準
レベル1	・ 1ヶ月以内	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中央政府 ・ 中央銀行（確認済みの引出可能な準備金を含む。） ・ 国際機関 ・ 多国間の開発銀行 ・ 硬貨および紙幣 	・ リスク加重は0%および20%

(中略)

処分上の制約を受ける資産および処分上の制約を受けない資産

(未監査)

現存する負債のために担保権が設定されている結果として、ある資産によって当行が資金調達手段を確保できなくなるか、必要な担保を手当てできなくなるか、または資金調達要件を削減するために当該資産を売却できない場合には、流動性の観点から、当該資産は処分上の制約を受けると定義されている。そのため、現存する負債のために担保権が設定されていない場合、資産は処分上の制約を受けないと分類されている。

(中略)

非トレーディング・ポートフォリオ

(未監査)

非トレーディング・ポートフォリオの市場リスクは、主に金利変動による資産の将来利回りと資金調達費用のミスマッチから生じている。このリスクの分析は、住宅ローンの期限前返済の発生率など特定の投資商品分野に組み込まれた選択性について仮定を用いなければならないこと、および当座預金など契約上、要求に応じて返済が可能な負債の残存年数について行動仮定を使用すること、ならびに管理金利の変更行動によって複雑になっている。

(後略)

<訂正後>

(前略)

リスク管理 (未監査)

当行グループの業務はいずれも、ある程度のリスクまたは複数リスクの分析、評価、受容および管理を含んでいる。当行グループが直面する主なリスクは、信用リスク（この中には、カントリー・リスクとクロスボーダー・リスクが含まれている。）、流動性・資金調達リスク、市場リスク、保険リスク、オペレーショナル・リスクおよびレピュテーション・リスクである。

(中略)

2014年に当行は、香港および中国において経済活動が大幅に減速するというシナリオを検討した。このストレス・テストの結果によると、当行グループは想定される経営行動を考慮に入れても十分な資本基盤を維持していることが示されている。

リスクに関する記述 - 銀行業務
 (監査済み)

リスク	原因	リスクの測定、モニタリングおよび管理
信用リスク		
顧客またはカウンターパーティが契約上の義務を履行しない場合に財務損失が発生するリスク	<ul style="list-style-type: none"> 信用リスクは、主に、直接貸付、貿易金融およびリース業務に起因して発生するが、保証やデリバティブなど他の一部の商品でも発生する。 	信用リスクは： <ul style="list-style-type: none"> 顧客またはカウンターパーティの返済不履行によって失うおそれがある金額として測定されている。デリバティブのエクスポージャーを測定する場合には、取引の最新の時価、および市場金利の変動に伴って時間の経過とともに予想される当該時価の変動を考慮に入れている。 個人が委託された権限の枠組みの範囲内で承認した限度内でモニターされている。これらの限度額は、顧客またはカウンターパーティが契約上の義務を履行しない場合に当行グループが被るおそれがあるエクスポージャーまたは損失の上限に相当する。 リスク・マネジャーに対する明確で一貫性のある方針、原則および助言を概述した厳格なリスク管理体制を通じて管理されている。

(中略)

市場リスク		
外国為替レート、コモディティ価格、金利、信用スプレッドおよび株価を含む市場要因の変動によって当行の利益または当行のポートフォリオの価値が減少するリスク	市場リスクに対するエクスポージャーは2つのポートフォリオに区分されている。 <ul style="list-style-type: none"> トレーディング・ポートフォリオは、主に顧客から派生したポジションのマーケットメイキングとウェアハウジングに起因したポジションで構成されている。 非トレーディング・ポートフォリオは、当行のリテール・バンキング資産と負債およびコマーシャル・バンキング資産と負債、売却可能および満期保有目的に指定されている金融投資、ならびに当行の保険業務から生じるポジションに起因するエクスポージャーで構成されている。 	市場リスクは： <ul style="list-style-type: none"> 具体的な対象期間について、所定の信頼水準まで、市場金利と時価の変動に伴うリスク・ポジションの潜在的な損失を見積もるために利用されるバリュー・アット・リスクの観点から測定され、より極端だが、ありそうな事象または一連の財務変数の変動がポートフォリオの価値に及ぼす潜在的な影響を評価するストレス・テストによって補強される。 正味受取利息の感応度および構造的な外国為替の感応度を含む数値を利用して測定され、リスクの種類ごとに市場リスク・ポジションに適用されている。 当行グループのリスク管理委員会から承認されたリスクの上限を利用して管理されている。これらのリスク単位は事業部門全体と当行グループの事業体に配分されている。

(中略)

リスクに関する記述 - 保険引受業務

(中略)

財務リスク

保険契約に基づいて発生する負債と保険債務の裏付けになっている資産ポートフォリオを効率的にマッチできる能力は、市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクなどの財務リスクの管理、ならびに保険契約者が負担するリスクの程度を条件にしている。

任意参加型保険契約は、保険契約の種類および保険契約の具体的な約款に合わせて保険契約者と株主の間で原資産のパフォーマンスを共有する。

以下に起因した財務リスクに対するエクスポージャー：

- ・ 金利、外国為替レートおよび株価などの変数の変動に起因して金融資産または将来のキャッシュ・フローの公正価値が変動する市場リスク
- ・ 第三者のそれぞれの債務不履行に伴う信用リスクおよび財務損失の可能性
- ・ 必要期間内に現金化可能な資産の不足を理由に、期限到来時に保険契約者に対する支払いができなくなる事業体の流動性リスク

財務リスクは：

- ・ リスクの種類ごとに個別に測定されている。
- 市場リスクは重要な財務変数の変動に対するエクスポージャーの観点から測定されている。
- 信用リスクは、カウンターパーティの返済不履行によって失うおそれがある金額として測定されている。
- 流動性リスクは、ストレス下にある営業キャッシュ・フロー予測を含む内部の測定基準を利用して測定されている。
- ・ 個人が委託された権限の枠組みの範囲内で承認した限度内でモニターされている。
- ・ リスク・マネジャーに対する明確で一貫性のある方針、原則および助言を概述した厳格なリスク管理体制を通じて管理されている。通常、保証付き保険商品を引き受けている子会社は、自ら発行した保険契約の範囲内で、市場のエクスポージャーが任意参加型（または配当）特約を利用して管理できない限りにおいて、市場金利の低下および株価下落の影響を受けている。
- ・ 参加型の保険商品に関しては、任意参加型特約に基づいて保険契約者とリスクを分担することによって軽減することができる。

(中略)

信用リスク (監査済み)

信用リスクは、当行が負うリスクに関して最も多くの規制上の自己資本を必要とする。当行グループはすべての活動に起因したリスクの管理とモニタリングを対象にした基準、方針および手順を定めている。HSBCグループの本店が定めた方針に従っている当行グループの主要な信用リスク管理手順と方針の中には、以下が含まれている。

(中略)

リスク委員会は、リスクに関する問題について取締役会を監督し、助言を行う責任も負っている。この点に関するリスク委員会の重要な責任の中には、当行グループ全体でのリスク選好、リスク許容度およびリスク戦略に関する取締役会への助言を作成すること、ならびに現在および予想されるマクロ経済環境と金融環境を考慮し、適切とみなした安全性を求めることが含まれている。リスク委員会は、内部統制とリスク管理体制の有効性に関する定期的なレビュー、およびハイレベルのリスク問題のすべてについて取締役会に助言する責任も負っている。リスク委員会は当行グループの最高リスク責任者の任命と解任について承認する。

() 信用エクスポージャー

信用リスクに対するエクスポージャーの上限

(監査済み)

(中略)

下表は、保有する担保またはその他の信用補完（かかる信用補完が会計上の相殺要件に適合している場合はこの限りではない。）を考慮する前の、オンバランスおよびオフバランスの金融商品の信用リスクに対するエクスポージャーの上限を表示している。貸借対照表で認識されている金融資産については、信用リスクに対するエクスポージャーの上限は簿価と等しく、財務保証および同様の約定に関しては保証の履行を請求された場合に支払義務を負う金額の上限を表している。それぞれの与信枠の期間中に取り消しできない貸付の融資確約および与信に関連したその他のコミットメントについては、一般的には確約された与信枠の全額になる。

(中略)

()金融商品の信用の質**(監査済み)**

当行グループの貸付および負債証券のポートフォリオの信用の質について、下表のとおり、大きく4つに分類されている。各々の分類には、ホールセールおよびリテール貸付業務に割り当てられた、より細分化された内部格付等級だけでなく、負債証券に対して外部の格付機関から付与された格付も含まれている。

以下の4つの分類の双方に該当する場合を除き、詳細に比べると内部格付と外部格付の間には直接的な相関はない。

(中略)

信用の質に関する分類の定義**(監査済み)**

- ・ 良好：このエクスポージャーは、デフォルトの確率がごくわずかであるか、または低く、および/または予想損失の水準が低く、財務上のコミットメントを履行する高い能力を示している。リテール勘定は、商品のパラメーターの範囲内で処理され、ごく例外的に債務不履行期間を表す。

(中略)

()延滞しているが、まだ減損していない金融商品の時系列分析**(監査済み)**

下表に記載されている金額は、延滞しているが減損していないと指定されたエクスポージャーを表している。延滞しているが減損していないと指定されたエクスポージャーの例の中には、直近の返済日に支払われなかったが、返済日の時点で減損の証拠がない貸付のほか、書類の遅延などの形式的な理由によって90日超延滞しているが、カウンターパーティの信用力には全く問題がない短期貿易ファシリティが含まれている。

(中略)

減損および信用リスクの軽減

(中略)

- ・ ヒストリカル・ロス法は、貸倒引当金が個別に減損と確認および評価される時点まで、担保付ポートフォリオまたはデフォルト確率の低いポートフォリオに対する集会的な貸倒引当金を計算するために利用されるのが一般的である。ヒストリカル・ロス法を利用した集会的に評価された貸付に関しては、ヒストリカル・ロス・レートは、一定の期間における回収金控除後の契約上の正味償却額の平均値に基づいている。契約上の正味償却率は、担保物の実行と回収金受領後の実際に経験した損失の金額である。

(中略)

集会的に評価されたホールセール貸付と個人向け担保付貸付については、発生しているが個別には確認されていない減損損失を見積もるために、ヒストリカル・ロス法を適用している。損失率は定められた60ヶ月以上の一定の期間にわたる回収金控除後の契約上の正味償却に基づいている。契約上の正味償却率は担保物の実行と回収金受領後の実際に経験した損失の金額である。これらのヒストリカル・ロス・レートは、ポートフォリオに影響を及ぼしている現在の経済情勢をより良く反映させるため過去の平均を調整した経済的要因によって調整されている。確認および評価されていない損失事由の蓋然性を反映させるため、発生期間に関する推定を適用している。これは、損失の発生から損失を確認するまでの期間を反映しているものである。発生期間は当行グループによって見積もられるほか、場合によっては確認された各々のポートフォリオについて現地の経営陣によって見積もられている。この見積もりに影響を及ぼすおそれのある要因の中には、経済情勢と市況、顧客の行動、ポートフォリオ管理情報、与信管理技法および市場での回収経験が含まれている。当行グループ全体では損失発生から損失確認までの期間について一定のレンジは定められていないほか、経験に基づいて定期的に評価されているため、これらの要因の変動に伴い時間の経過とともに変動する可能性がある。

(中略)

企業、商業および金融(ノンバンク)貸付**(監査済み)**

保有担保は、商業用不動産およびその他の企業、商業および金融（ノンバンク）貸付別に、以下において個別に分析されている。これは、ポートフォリオに保有されている担保の相違を反映している。それぞれの場合において、分析には、主に未実行信用枠であるオフバランスシート貸付コミットメントが含まれている。

（中略）

担保の水準別に見たCRR/EL 8 から10に格付されている顧客のみに対するその他の企業、商業および金融（ノンバンク）貸付（貸付コミットメントを含む。）

（監査済み）

（中略）

上記の評価で使用された担保物には、主に不動産に対する第一順位の法的担保および商業セクターと工業セクターにおける現金担保および金融セクターにおける現金と市場性のある金融商品に対する担保が含まれている。

（中略）

デリバティブ

（監査済み）

デリバティブ業務のドキュメンテーションとして当行が優先して利用しているのは国際スワップ・デリバティブズ協会（以下「ISDA」という。）のマスター契約である。マスター契約は契約上の枠組みを定めており、当行はその範囲内で様々な店頭デリバティブ取引を行っているほか、当事者はマスター契約によって拘束され、いずれかの当事者がデフォルトを起こした場合、または事前に合意された別の契約終了事由が発生した場合には、契約の適用対象である残存するすべての取引全体で一括清算ネットリングが適用される。一般的に、当事者はISDAマスター契約と同時にクレジット・サポート・アネックス（以下「CSA」という。）を締結するが、当行においても好まれる慣行である。CSAに基づき、残存するポジションに内在するカウンターパーティ・リスクを軽減するために当事者間で担保の移転が行われている。当行がCSAを締結している相手方の大半は金融機関顧客である。詳細は、「第6 経理の状況 - 1 財務書類 - 注記45」を参照のこと。

その他の信用リスク

（監査済み）

（中略）

当行グループの信用リスクに対するエクスポージャーの上限には、金融保証のほか、当行グループが発行または締結する同じような取決めと取消不能の形で行われた貸付コミットメントが含まれている。取決めの条件によっては、保証の履行が請求された場合、または貸付コミットメントが実行され、その後にデフォルトが発生した場合、当行は追加の信用軽減措置をとることができる。これらの取決めに関する追加情報は、「第6 経理の状況 - 1 財務書類 - 注記42」に記載されている。

（中略）

担保実行資産は、秩序だった方法により売却の対象となり、売却代金は未払債務の減額または返済に充てられる。債務の返済後にも残額がある場合には低順位のその他担保権者への支払い、または顧客への返還に利用可能となる。当行グループは一般的には自行の事業目的での使用のため担保実行財産を占有することはない。

（中略）

中核的預金

（中略）

レボ契約と銀行による預金は中核的預金に分類することができない。

（中略）

流動資産

（未監査）

(中略)

内部分類	認識されている 現金流入	資産クラス	適格規準
レベル1	・ 1ヶ月以内	・ 中央政府 ・ 中央銀行（確認済みの引出可能な準備金を含む。） ・ 国際機関 ・ 多国間の開発銀行 ・ 硬貨および紙幣	・ リスク加重は0%および20%

(中略)

処分上の制約を受ける資産および処分上の制約を受けない資産

(未監査)

現存する負債のためにある資産に担保権が設定されている結果として、当行がさらなる資金調達手段を確保できなくなるか、必要な担保を手当てできなくなるか、または資金調達要件を削減するために当該資産を売却できない場合には、流動性の観点から、当該資産は処分上の制約を受けると定義されている。そのため、現存する負債のために担保権が設定されていない場合、資産は処分上の制約を受けないと分類されている。

(中略)

非トレーディング・ポートフォリオ

(未監査)

非トレーディング・ポートフォリオの市場リスクは、主に金利変動による資産の将来利回りと資金調達費用のミスマッチから生じている。このリスクの分析は、住宅ローンの期限前返済の発生率など特定の投資商品分野に組み込まれた選択性について仮定を用いなければならないこと、および当座預金など契約上、要求に応じて返済が可能な負債の残存年数について行動仮定を使用すること、ならびに管理された金利商品のリプライシング行動によって複雑になっている。

(後略)

7【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

<訂正前>

(前略)

正味受取利息

(中略)

純利ざやは、2013年と比べて3ベース・ポイント減少して1.91%となった。純金利スプレッドは2ベース・ポイント減少し、正味自由資金による貢献は1ベース・ポイント減少した。純利ざやの減少は、顧客に対する貸付におけるスプレッドの圧縮のほか、2013年後半の香港およびシンガポールにおけるGPB事業の取得後に利回りの低い資産に分散された剰余金の増加によるものである。

(中略)

保険収益

正味営業収益には、保険事業から得た以下の収益が含まれる。

	2014年 百万香港ドル	2013年 百万香港ドル
正味受取利息	9,439	8,702
正味受取手数料	2,083	1,864
トレーディング純費用	(512)	(349)
公正価値評価の指定を受けた金融商品からの純収益	4,159	2,426
正味保険料収入	57,307	53,663
有効な保険契約の現在価値の変動	3,581	4,735
その他営業収益	173	1,052
	<u>76,230</u>	<u>72,093</u>
正味保険金、支払給付金および保険契約準備金の変動	<u>(60,182)</u>	<u>(56,592)</u>
保険収益合計	<u>16,048</u>	<u>15,501</u>

(中略)

公正価値評価の指定を受けた金融商品からの純収益は、2013年の2,426百万香港ドルと比べて4,159百万香港ドルとなったが、これは株式市場の実績の改善および債券価格の上昇を反映している。再評価が保険契約者に帰属する範囲で、「正味保険金、支払給付金および保険契約準備金の変動」においてマイナスの変動が計上されている。

正味保険料収入は7%増加したが、これは据置年金商品および富裕層向け商品の販売による新規保険料の増加ならびに契約更新によるものである。これらは、ユニット連動型商品の保険料の減少により一部相殺された。保険料の伸びに応じて「正味保険金、支払給付金および保険契約準備金の変動」も増加している。

(中略)

資産

	2014年		2013年	
	百万香港ドル	%	百万香港ドル	%
現金および中央銀行預け金	156,475	2.3	158,879	2.5
リバース・レボ契約 - 非トレーディング	218,901	3.3	150,584	2.4
銀行に対する貸付金	488,313	7.3	564,521	9.0
顧客に対する貸付金	2,815,216	42.3	2,619,245	42.0
金融投資	1,456,493	21.9	1,379,771	22.1
その他 ¹	1,526,694	22.9	1,370,801	22.0
	<u>6,662,092</u>	<u>100.0</u>	<u>6,243,801</u>	<u>100.0</u>

(後略)

< 訂正後 >

(前略)

正味受取利息

(中略)

純利ざやは、2013年と比べて3 ベーシス・ポイント減少して1.91%となった。純金利スプレッドは2 ベーシス・ポイント減少し、正味自由資金による貢献は1 ベーシス・ポイント減少した。純利ざやの減少は、顧客に対する貸付におけるスプレッドの圧縮のほか、2013年後半の香港およびシンガポールにおけるGPBの事業の取得後に利回りの低い資産に分散された剰余金の増加によるものである。

(中略)

保険収益

正味営業収益には、保険事業から得た以下の収益が含まれる。

	2014年 百万香港ドル	2013年 百万香港ドル
正味受取利息	9,439	8,702
正味受取手数料	2,083	1,864
トレーディング純費用	(512)	(349)
公正価値評価の指定を受けた金融商品からの純収益	4,159	2,426
正味保険料収入	57,307	53,663
有効な保険契約の現在価値の変動	3,581	4,735
その他営業収益	173	1,052
	<u>76,230</u>	<u>72,093</u>
正味支払保険金および支払給付ならびに保険契約準備金の変動	(60,182)	(56,592)
保険収益合計	<u>16,048</u>	<u>15,501</u>

(中略)

公正価値評価の指定を受けた金融商品からの純収益は、2013年の2,426百万香港ドルと比べて4,159百万香港ドルとなったが、これは株式市場の実績の改善および債券価格の上昇を反映している。再評価が保険契約者に帰属する範囲で、「正味支払保険金および支払給付ならびに保険契約準備金の変動」においてマイナスの変動が計上されている。

正味保険料収入は7%増加したが、これは据置年金商品および富裕層向け商品の販売による新規保険料の増加ならびに契約更新によるものである。これらは、ユニット連動型商品の保険料の減少により一部相殺された。保険料の伸びに応じて「正味支払保険金および支払給付ならびに保険契約準備金の変動」も増加している。

(中略)

資産

	2014年		2013年	
	百万香港ドル	%	百万香港ドル	%
現金および中央銀行預け金	156,475	2.3	158,879	2.5
リバース・レポ契約 - 非トレーディング	218,901	3.3	150,584	2.4
銀行預け金および貸付金	488,313	7.3	564,521	9.0
顧客に対する貸付金	2,815,216	42.3	2,619,245	42.0
金融投資	1,456,493	21.9	1,379,771	22.1
その他 ¹	1,526,694	22.9	1,370,801	22.0
	<u>6,662,092</u>	<u>100.0</u>	<u>6,243,801</u>	<u>100.0</u>

(後略)

第5【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(3)【発行済株式総数及び資本金の推移】

<訂正前>

(前略)

非累積的償還不能優先株式

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総数 残高(株)	資本金増減額 (米ドル)	資本金残高 (米ドル)
2013年3月28日	(900,000,000)	5,753,000,000	(900,000,000.00)	5,753,000,000.00
2013年4月26日	(900,000,000)	4,853,000,000	(900,000,000.00)	4,853,000,000.00
2013年6月21日	(900,000,000)	3,953,000,000	(900,000,000.00)	3,953,000,000.00
2014年6月26日	(700,000,000)	3,253,000,000	(700,000,000.00)	3,253,000,000.00

注：発行済株式総数および資本金の減少は、発行済優先株式の発行価格での消却によるものである。
2014年6月26日付の累積的償還不能優先株式および非累積的償還不能優先株式の減少は、HBAPの普通株式等Tier 1比率を改善することを目的とした合計1,385百万米ドル（10,733.75百万香港ドルに相当する。）の優先株式の普通株式資本への転換に起因する。

累積的償還不能優先株式

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総数 残高(株)	資本金増減額 (米ドル)	資本金残高 (米ドル)
2013年3月20日	(1,045,000,000)	1,085,000,000	(1,045,000,000.00)	1,085,000,000.00
2014年6月26日	(685,000,000)	400,000,000	(685,000,000.00)	400,000,000.00

注：発行済株式総数および資本金の減少は、発行済優先株式の発行価格での消却によるものである。
2014年6月26日付の累積的償還不能優先株式および非累積的償還不能優先株式の減少は、当行の普通株式等Tier 1比率を改善することを目的とした合計1,385百万米ドル（10,733.75百万香港ドルに相当する。）の優先株式の普通株式資本への転換に起因する。

<訂正後>

(前略)

非累積的償還不能優先株式

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総数 残高(株)	資本金増減額 (米ドル)	資本金残高 (米ドル)
2013年3月28日	(900,000,000)	5,753,000,000	(900,000,000.00)	5,753,000,000.00
2013年4月26日	(900,000,000)	4,853,000,000	(900,000,000.00)	4,853,000,000.00
2013年6月21日	(900,000,000)	3,953,000,000	(900,000,000.00)	3,953,000,000.00
2014年6月26日	(700,000,000)	3,253,000,000	(700,000,000.00)	3,253,000,000.00

注：発行済株式総数および資本金の減少は、発行済優先株式の発行価格での消却によるものである。

2014年6月26日付の累積的償還不能優先株式および非累積的償還不能優先株式の減少は、当行の普通株式等Tier 1 比率を改善することを目的とした合計1,385百万米ドル（10,733.75百万香港ドルに相当する。）の優先株式の普通株式資本への転換に起因する。

累積的償還不能優先株式

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総数 残高(株)	資本金増減額 (米ドル)	資本金残高 (米ドル)
2013年3月20日	(1,045,000,000)	1,085,000,000	(1,045,000,000.00)	1,085,000,000.00
2014年6月26日	(685,000,000)	400,000,000	(685,000,000.00)	400,000,000.00

注：発行済株式総数および資本金の減少は、発行済優先株式の発行価格での消却によるものである。

2014年6月26日付の累積的償還不能優先株式および非累積的償還不能優先株式の減少は、当行の普通株式等Tier 1 比率を改善することを目的とした合計1,385百万米ドル（10,733.75百万香港ドルに相当する。）の優先株式の普通株式資本への転換に起因する。

5【コーポレート・ガバナンスの状況等】

(1)【コーポレート・ガバナンスの状況】

<訂正前>

コーポレート・ガバナンス報告書

当行は、高水準のコーポレート・ガバナンスの実現に尽力している。当行は認可機関として、ホンコン・マネタリー・オーソリティー・スーパーバイザリー・ポリシー・マニュアルCG-1「香港で設立された認可機関のコーポレート・ガバナンス」の適用を受け遵守している。グループは2014年において、2013年にグループに導入されたHSBCグループ会社のComply or Explain型のコーポレート・ガバナンス・コードが当行及びその子会社において実施された。本コードは、当行の子会社によっても実施されている。

(中略)

監査人

(中略)

2013年8月2日、HSBCグループは、2015年12月31日に終了した事業年度に関しては、HSBCグループ会社の監査人としてプライスウォーターハウス・クーパーズ・エルエルピー（以下「PwC」という。）を選任する意図がある旨公表した。監査報告書に署名後のケーピーエムジーの辞任により、一時的に欠員となった監査人にPwCが2015年2月23日に指名された。当行の監査人としてPwCを指名する議案は、2015年5月12日に開催された年次総会において可決された。

<訂正後>

コーポレート・ガバナンス報告書

当行は、高水準のコーポレート・ガバナンスの実現に尽力している。当行は認可機関として、ホンコン・マネタリー・オーソリティー・スーパーバイザリー・ポリシー・マニュアルCG-1「香港で設立された認可機関のコーポレート・ガバナンス」の適用を受け遵守している。グループは2014年において、2013年にグループに導入されたHSBCグループ会社の遵守または説明(Comply or Explain)型のコーポレート・ガバナンス・コードが当行及びその子会社において実施された。本コードは、当行の子会社によっても実施されている。

(中略)

監査人

(中略)

2013年8月2日、HSBCグループは、2015年12月31日に終了する事業年度に関しては、HSBCグループ会社の監査人としてプライスウォーターハウス・クーパーズ・エルエルピー（以下「PwC」という。）を選任する意図がある旨公表した。監査報告書に署名後のケーピーエムジーの辞任により、一時的に欠員となった監査人にPwCが2015年2月23日に指名された。当行の監査人としてPwCを指名する議案は、2015年5月12日に開催された年次総会において可決された。

第6【経理の状況】

1【財務書類】

<訂正前>

(前略)

財務諸表注記

(中略)

4 営業利益

(中略)

e 公正価値評価の指定を受けた金融商品からの純収益

	2014年	2013年
	百万香港ドル	
公正価値評価の指定を受けた保険および投資契約に対応する資産に係る収益	5,025	3,589
投資契約に基づく顧客に対する負債の公正価値の増加	(807)	(1,050)
	4,218	2,539
公正価値評価の指定を受けたその他の金融資産/負債の公正価値の正味変動 ¹	(205)	(110)
公正価値評価の指定を受けた金融資産および負債に係る利息		
- 受取利息(注記4(a))	35	63
- 支払利息(注記4(b))	-	(17)
	4,048	2,475

1 当行グループの発行済負債証券の公正価値の変動による利益または損失には、当行グループ自身の信用リスクの変動から生じた利益または損失が含まれている。2014年に、当行グループは自身の信用リスクの変動から生じたこれらの商品の公正価値の変動による損失35百万香港ドル(2013年: 損失18万香港ドル)を認識した。

(中略)

24 有形固定資産

(中略)

e 顧客ヘリースした不動産

当行グループの投資不動産は、オペレーティング・リースに基づき賃貸されている。リース期間は、通常2 - 3年であり、更新オプションが付されている場合には、期間は再交渉される。当期において、オペレーティング・リースに関する賃貸収益422百万香港ドル（2013年：312万香港ドル）が損益計算書に認識された。

（中略）

50 公正価値以外の方法により計上されている金融商品の公正価値

（中略）

当行

	帳簿価額	公正価値			合計
		市場相場 価格 レベル1	評価手法		
			観察可能な 入力データの使 用 レベル2	重要な観察不能 な入力データに よるもの レベル3	
			百万香港ドル		
2014年12月31日					
資産					
売戻契約 - 非トレーディング	116,113	-	107,809	8,709	116,518
銀行預け金	206,309	-	197,632	8,718	206,350
顧客に対する貸付金	1,590,711	-	17,108	1,566,741	1,583,849
金融投資負債証券	-	-	-	-	-
負債					
買戻契約 - 非トレーディング	21,033	-	21,033	-	21,033
銀行からの預金	174,385	-	173,716	668	174,384
顧客からの預金	2,814,510	-	2,814,085	-	2,814,085
発行済負債証券	32,089	-	32,083	1	32,084
劣後債務	9,337	-	-	8,412	8,412
優先株式	36,474	-	-	32,516	32,516
2013年12月31日					
資産					
売戻契約 - 非トレーディング	86,601	-	86,608	-	86,608
銀行預け金	250,918	-	234,332	16,824	251,156
顧客に対する貸付金	1,483,910	-	2,812	1,473,508	1,476,320
金融投資負債証券	-	-	-	-	-
負債					
買戻契約 - 非トレーディング	5,951	-	5,951	-	5,951
銀行預け金	192,025	-	192,024	-	192,024
顧客からの預金	2,723,322	-	2,723,353	-	2,723,353
発行済負債証券	30,062	-	30,149	1	30,150
劣後債務	9,346	-	-	9,448	8,448
優先株式	47,205	-	-	41,391	41,391

(中略)

52 法的手続きおよび規制事項

(中略)

反マネーロンダリング(資金洗浄)および制裁関連

(中略)

これらの合意に基づき、エイチエスピーシー・ホールディングスおよびエイチエスピーシー・バンク・ユーエスエーは、米国当局に対して合計1.9十億米ドルを納付し、また義務の履行を継続していく。2013年7月1日、ニューヨーク東部地区連邦地方裁判所は、US DPAを承認し、同契約の履行状況を監視する権限

を留保した。DOJ、FCAおよびFRBとの合意に基づき、独立モニター（FCAの目的では、金融サービス市場法セクション166の規定にある「専門家」）が、エイチエスピーシーのAMLおよび制裁遵守機能の有効性を定期的に評価し、合意に基づくエイチエスピーシーの改善義務の履行状況を評価する。

（後略）

<訂正後>

（前略）

財務諸表注記

（中略）

4 営業利益

（中略）

e 公正価値評価の指定を受けた金融商品からの純収益

	2014年	2013年
	百万香港ドル	
公正価値評価の指定を受けた保険および投資契約に対応する資産に係る収益	5,025	3,589
投資契約に基づく顧客に対する負債の公正価値の増加	(807)	(1,050)
	4,218	2,539
公正価値評価の指定を受けたその他の金融資産/負債の公正価値の正味変動 ¹	(205)	(110)
公正価値評価の指定を受けた金融資産および負債に係る利息		
- 受取利息（注記4(a)）	35	63
- 支払利息（注記4(b)）	-	(17)
	4,048	2,475

1 当行グループの発行済負債証券の公正価値の変動による利益または損失には、当行グループ自身の信用リスクの変動から生じた利益または損失が含まれている。2014年に、当行グループは自身の信用リスクの変動から生じたこれらの商品の公正価値の変動による損失35百万香港ドル（2013年：損失18百万香港ドル）を認識した。

（中略）

24 有形固定資産

（中略）

e 顧客ヘリースした不動産

当行グループの投資不動産は、オペレーティング・リースに基づき賃貸されている。リース期間は、通常2-3年であり、更新オプションが付されている場合には、期間は再交渉される。当期において、オペレーティング・リースに関する賃貸収益422百万香港ドル（2013年：312百万香港ドル）が損益計算書に認識された。

(中略)

50 公正価値以外の方法により計上されている金融商品の公正価値

(中略)

当行

	帳簿価額	市場相場 価格 レベル1	公正価値		合計
			評価手法		
			観察可能な 入力データの使 用 レベル2	重要な観察不能 な入力データに よるもの レベル3	
			百万香港ドル		
2014年12月31日					
資産					
売戻契約 - 非トレーディング	116,113	-	107,809	8,709	116,518
銀行預け金	206,309	-	197,632	8,718	206,350
顧客に対する貸付金	1,590,711	-	17,108	1,566,741	1,583,849
金融投資負債証券	-	-	-	-	-
負債					
買戻契約 - 非トレーディング	21,033	-	21,033	-	21,033
銀行からの預金	174,385	-	173,716	668	174,384
顧客からの預金	2,814,510	-	2,814,085	-	2,814,085
発行済負債証券	32,089	-	32,083	1	32,084
劣後債務	9,337	-	-	8,412	8,412
優先株式	36,474	-	-	32,516	32,516
2013年12月31日					
資産					
売戻契約 - 非トレーディング	86,601	-	86,608	-	86,608
銀行預け金	250,918	-	234,332	16,824	251,156
顧客に対する貸付金	1,483,910	-	2,812	1,473,508	1,476,320
金融投資負債証券	-	-	-	-	-
負債					
買戻契約 - 非トレーディング	5,951	-	5,951	-	5,951
銀行預け金	192,025	-	192,024	-	192,024
顧客からの預金	2,723,322	-	2,723,353	-	2,723,353
発行済負債証券	30,062	-	30,149	1	30,150
劣後債務	9,346	-	-	8,448	8,448
優先株式	47,205	-	-	41,391	41,391

(中略)

52 法的手続きおよび規制事項

(中略)

反マネーロンダリング(資金洗浄)および制裁関連

(中略)

これらの合意に基づき、エイチエスピーシー・ホールディングスおよびエイチエスピーシー・バンク・ユーエスエーは、米国当局に対して合計1.9十億米ドルを納付し、また義務の履行を継続していく。2013年7月、ニューヨーク東部地区連邦地方裁判所は、US DPAを承認し、同契約の履行状況を監視する権限を留保した。DOJ、FCAおよびFRBとの合意に基づき、独立モニター（FCAの目的では、金融サービス市場法セクション166の規定にある「専門家」）が、エイチエスピーシーのAMLおよび制裁遵守機能の有効性を定期的に評価し、合意に基づくエイチエスピーシーの改善義務の履行状況を評価する。

(後略)

3【その他】

<訂正前>

(前略)

(2) 訴訟

上記「第6 経理の状況 - 1 財務書類 - 注記」の「52 法的手続き」を参照のこと。

<訂正後>

(前略)

(2) 訴訟

上記「第6 経理の状況 - 1 財務書類 - 注記」の「52 法的手続きおよび規制事項」を参照のこと。